

2020年（令和二年）11月11日

## 報道関係者各位

株式会社 **オリコム**  
代表取締役社長 大塚 尚司

## サッポロビールの埼玉高速鉄道車内ビジョンにおける 『ダイナミックDOOH』展開において、 「デジタルサイネージアワード2020 優秀賞」を受賞

株式会社オリコム（本社：東京都港区、代表取締役社長：大塚尚司、資本金1億6,500万円）は、サッポロビール株式会社（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：高島英也、資本金100億円）のビール「サッポロ生ビール黒ラベル」「エビスビール」及びチューハイ「サッポロチューハイ99.99<フォーナイン>」等の各広告を、埼玉高速鉄道（本社：さいたま市、代表取締役社長：荻野洋、資本金1億円）の車内ドア上に設置されたビジョンにおいて、その媒体を視認できる範囲にいる属性毎に素材を出し分けるダイナミックDOOHの広告展開を実施しました。

その広告展開が、デジタルサイネージコンソーシアムが主催する「デジタルサイネージアワード2020」において、優秀賞を受賞しました。

デジタルサイネージアワードは、一般社団法人デジタルサイネージコンソーシアムが主催し、公募したデジタルサイネージ作品のなかから優秀な作品を選出・表彰することでデジタルサイネージ市場をさらに活性化していくことを目指すもので、今年12年目を迎えます。

本受賞展開は、電車内での世界初※となる「ダイナミックに素材を切り替えての放映」に加え、その出し分けたデータを分単位でログに残すことができる交通広告です。

受賞評価ポイントは以下。

- 世界初の電車車内ダイナミックDOOH展開であった点
- 乗車属性を認識し、それに合ったコンテンツ出し分けが可能となったことで、適性にあった訴求となり、販売方法についても新たなモデルを感じさせた点
- 検証内容による評価や課題定義が示され、今後のテクノロジーを利用したサイネージの活用について参考となった点

<実施概要>

□実施媒体：埼玉高速鉄道 車内デジタルサイネージ「ダイナミックビークルスクリーン」

□実施期間：2020年3月30日（月）～4月5日（日）

※ 2020年3月30日現在 ビズライト・テクノロジー社調べ

受賞エントリー企業

サッポロビール株式会社/埼玉高速鉄道/株式会社ビズライト・テクノロジーと株式会社オリコム

